



MEDICAL  
SYSTEM  
NETWORK  
GROUP

北海道薬学実務実習フォーラム2020

# 実務実習実践報告

2020年2月16日

株式会社なの花北海道

なの花薬局 上野幌店 五十嵐 綾

なの花薬局

# 2019年度実習生受け入れ実績

なの花薬局上野幌店

眼科クリニックと小児科クリニックの門前薬局

2019年度      1期：1名      2期：1名

# スケジュールの見直し

旧  
コア  
カリ

**1～2週目**

- ・薬が患者様に渡るまでの流れを覚える。
- ・薬の場所を覚える。
- ・処方箋の見方を覚える。
- ・簡単なピッキングができるようにする。
- ・薬の検品ができるようにする。

**3～4週目**

- ・処方内容を考えながらピッキングする。
- ・散剤予製を作り、分包機の使い方に慣れる。
- ・一包化の予製を作る。
- ・散剤、液剤の調剤ができるようにする。
- ・外用薬の使い方を覚える。

**5～6週目**

- ・処方意図、用法用量を考えてピッキングする
- ・散剤、液剤、一包化調剤ができるようにする
- ・受付業務で、コミュニケーションを学ぶ。
- ・**眼科のDo処方の投薬をする。**
- ・保険や調剤報酬について学ぶ。

改  
定  
コ  
ア  
カ  
リ

**1～2週目**

- ・薬が患者様に渡るまでの流れを覚える。
- ・薬の場所を覚える。
- ・処方箋の見方を覚える。
- ・簡単なピッキングができるようにする。
- ・薬の検品ができるようにする。

**3～4週目**

- ・処方意図、用法用量を考えてピッキングする
- ・散剤、液剤、一包化調剤ができるようにする
- ・外用薬の使い方を覚える。
- ・受付業務で、コミュニケーションを学ぶ。
- ・**眼科のDo処方の投薬をする。**

**5～6週目**

- ・処方意図、用法用量を考えてピッキングする
- ・**眼科と小児科の投薬をして薬の説明をする。**
- ・薬の発注業務をして、薬の入荷を学ぶ。
- ・保険や調剤報酬について学ぶ。

**服薬指導の開始を  
5週目から3週目  
に**

## 服薬指導実習開始後の学生の意識変化（週報より）

- 2週目

来週からは、投薬も始まる予定なので、最初は慣れずに詰まってしまうかもしれないが、自分の言葉で、かつ患者さまに分かりやすい説明ができるように心掛けたい。

- **3週目（服薬指導開始）**

一番初めは色々なことを忘れて、薬歴に書くことがなくなってしまったけれど、二回目三回目は患者さまの体調の変化を聞くことができた。

## 服薬指導実習開始後の学生の意識変化（週報より）

- 5週目

服薬指導をしていて実感するのが、患者さまによっていろいろなことを話してくれる方もいれば、質問したことしか情報が得られない方もおり、一人一人にあった服薬指導を行えるように心掛けていきたいと思った。

- 7週目

久しぶりに薬局に来局された方の服薬指導を行う際に、薬を飲んで副作用が出たことはないか確認することができた。

## 服薬指導実習開始後の学生の意識変化（週報より）

- 10週目

初めての薬でも他の薬局で使用したことがある薬かもしれないので、一度使ったことがあるかどうかを聞いてから服薬指導に移ると服薬指導が行いやすくなることを学んだ。

### 受け身の服薬指導から主体的な服薬指導

## 同じ患者さまに服薬指導をした事例

- **1回目**

眼科で抗アレルギー剤の点眼薬が処方されている患者さま。前回と同じ処方だったが、最後に気になることはないか質問をした際に、点眼時に失敗してしまう。とお話があった。学生は正しい点眼薬の使い方を説明。

- **2回目**

点眼薬は前回と同じ処方であったが、その後うまく点眼できるか確認したところ、前より失敗しなくなったと言っていた。

- **3回目**

順調に点眼している。アレルギー症状も出ていないと言っていた。

## 服薬指導の開始を早めることで . . .

体験する機会が多くなり、成長の場が増える

同じ患者さまに服薬指導する機会が多くなり、  
前回の指導を思い返したり、反省点を活かすことができる

# 実習の振り返りと目標設定

- ・ 1週目は毎日、日報を書く前にその日の振り返りと明日の目標設定
- ・ 2週目以降は週に1回、週報を書く前にその週の振り返りと翌週の目標設定
- ・ 2週に1回、ループリック評価をつけて、ステップを進めるための目標設定
- ・ 中間訪問前にSBOの進捗状況の確認
- ・ 中間訪問後は週に1回、SBOの進捗状況を確認して、達成していない項目の目標設定

# 代表的 8 疾患

ほとんど処方がない…

何度も体験できる

代表的 8 疾患に分類される具体例

がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白血病</li> <li>・悪性リンパ腫</li> <li>・肺癌、乳癌など</li> </ul>
高血圧症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高血圧症、肺高血圧症</li> </ul>
糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病とその合併症、耐糖能異常</li> </ul>
心疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不整脈</li> <li>・急性、慢性心不全</li> <li>・虚血性心疾患など</li> </ul>
脳血管障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞など</li> </ul>
精神神経疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合失調症</li> <li>・うつ病、躁病、双極性障害</li> <li>・てんかん</li> <li>・認知症</li> <li>・不眠など</li> </ul>
免疫・アレルギー疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蕁麻疹、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、気管支喘息</li> <li>・尋常性乾癬</li> <li>・自己免疫疾患など</li> </ul>
感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細菌性感染症</li> <li>・ウイルス性感染症（インフルエンザ、手足口病、風邪症候群など）</li> <li>・真菌感染症など</li> </ul>
その他	

# なの花薬局の店舗交流

(株)なの花北海道 学生実習資料

道央ブロック店舗名	診療科	指導薬剤師	学生受入時の店舗の特徴や教えられる内容をお書き下さい
あいの里店	小児科	○	小児科で散剤の処方が多い。分包機は2枚円盤を使用。水剤自動分注機あり。機械でのシロップの自動調剤が見学できる。母親が子供の薬の服用に関して、どのような不安があるか等、話を聞くことができる。
東札幌店	内科・外科 耳鼻咽喉科 脳神経外科 心療内科	○	がんを専門とする東札幌病院、頭痛を専門とする東札幌脳神経外科、またさくら耳鼻咽喉科、東札幌メンタルクリニック、4つを門前とする大型店舗。東札幌病院においては麻薬の使用頻度も高い。また数少ない無菌調製室を完備している薬局です。待合室には番号案内システムを設置。
新札幌店		○	札幌北辰病院の門前で幅広い診療科を取り扱っています。また薬局の上に整形外科のクリニックもあり、多数の湿布を取りそろえています。OTCにも力をいれており、時期によっては試飲コーナーも設置しております。
平岡店	内科・整形	○	消化器内科・整形のクリニック門前。月処方箋は1300-1400枚で、1種類の内服や湿布のみの処方の方から、重たい一包装までさまざまです。薬剤師2人なので、重たい患者の処方はお任せしないように手製で対応しています。小規模店舗ではありますが、地域の方の処方方も多く受けているので、北大、札幌、社保など総合病院の処方を受けることもあります。
美しが丘店	内科・胃腸科・ 整形外科 皮膚科・眼科 心療内科	○	・処方箋取扱い枚数がなの花薬局内でも多い薬局。 ・1つの病院(内科・胃腸科・整形外科)と、3つのクリニック(皮膚科・眼科・心療内科)の処方を受けており、様々な処方に携わる事ができる。
上野幌店	小児科・眼科	○	小児科、眼科の処方が主。小児科の処方は散剤や液剤の混合調剤が行える。体重により用量が調節されるので換算が必要。服薬拒否する子供もいるため服用方法について個々に合わせた適切な指導が必要。冬は混雑。

# 店舗交流依頼書

学生実習依頼書 H 31年 4月 10日 

依頼先	なの花薬局 東札幌店	<input checked="" type="checkbox"/> 指導薬剤師 <input type="checkbox"/> 薬局長	へ
←	依頼元	なの花薬局 上野幌店	<input checked="" type="checkbox"/> 指導薬剤師 <input type="checkbox"/> 薬局長
	依頼元FAX		

学生名	<input checked="" type="checkbox"/> 医療大 <input type="checkbox"/> 北大 <input type="checkbox"/> 道業大
-----	---

実習日	4月25日	時間	9:00 ~ 17:00
-----	-------	----	--------------

**\*開始10分前までには入る事**

**受け入れ店舗から実習生への連絡事項**

持参するもの  白衣・  上履き・  印鑑 (シャチハタ)

その他: ( )

午後から行く場合の昼食  昼食を取ってから入局  薬局に来てからでも可

**チェック項目**

<input checked="" type="checkbox"/> 薬局への道順は教えてあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち物確認
<input checked="" type="checkbox"/> 日時確認	<input checked="" type="checkbox"/> 受入薬局の連絡先確認
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急時の連絡先確認	

**指導薬剤師から具体的に何を教えて欲しいか記入して下さい。**

- ・上野幌店ではあまり扱わない脳外科の処方を中心に、処方を見せていただき、お時間があれば投薬も体験させていただきたいです。
- ・無菌室の見学もさせていただきたいです。

店舗交流で学んだこと・気付いたことについて入力して下さい。(実習生入力)  
(指導薬剤師：入力後に実習委員会・店舗交流先へメールして下さい)

## 店舗交流終了後の学生の感想

- 自店舗では扱ったことのない医薬品が多くあり、様々な処方箋に触れることができ、新たに学ぶこともあった。
- 普段調剤する機会が少ない医薬品に触れることが多かったため、その医薬品に対する理解が深まった。
- 同じ薬でも、規格やメーカーの種類が多く、調剤をする際には間違えることのないように、日ごろから処方箋を確認するということが大切だと改めて感じた。

## 実習記録による評価の領域

- ・ 地域におけるチーム医療
- ・ 在宅（訪問）医療、介護への参画
- ・ 地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画
- ・ プライマリケア、セルフメディケーションの実践
- ・ 災害時医療と薬剤師

## 地域におけるチーム医療

- なの花薬局の栄養士との連携
- クリニックとの合同勉強会
- 健康フェアへの参加



8月4日は**栄養の日**

# 栄養ワンダー

7月2日(火) 10時~12時

サンプル配布

ご参加いただいた方に  
キウイフルーツ、ヨーグルト、野菜ジュースの  
サンプルをプレゼント!

 **先着30名様!**

無料栄養相談

管理栄養士による栄養相談を無料で実施します。  
「血糖値が高い」「減塩について知りたい」  
など、お気軽にご相談ください!

食事記録、検査結果表などを  
お持ちの方は、ご持参下さい。



**なの花薬局 上野幌店**  
札幌市厚別区上野幌2条2丁目3番10号 ☎011-896-1193  
★処方せんをお持ちではない方もお気軽にご参加ください!

## 在宅医療の体験

実際の訪問に学生が薬剤師と一緒に訪問

訪問時に薬の説明、患者さまの体調の聞き取り



訪問後に担当薬剤師と一緒に報告書の作成



次回の計画も学生と一緒に考察

報告書の提出

## 在宅医療の体験

自店舗で体験できない場合は

- 店舗交流で在宅の処方が多い2店舗で体験
- 本社合同研修では在宅を多く担当している薬剤師の話を聞くことができる

## 店舗交流での在宅医療の体験

- 在宅医療の訪問は個人宅を選択
- 在宅医療に合った設備やクリーンベンチの説明、見学。
- 薬局から在宅が始まるまでの流れとして、管理が難しいと思われる患者の選択や在宅訪問の提案の説明
- 初回訪問時での契約の説明

## 在宅医療を終えた後の学生の感想（週報より抜粋）

在宅は何か特別なことをしている印象があったが患者さまの自宅に行く以外は外来の投薬と大きく変わりはなかった。

しかし、病院や薬局に行く事が難しい患者さまにとっては重要な事であり、服薬状況を把握し、処方された薬と医師の訪問頻度を照らし合わせて対応しなければならない。  
明日の目標は自分から業務に関われるように行動する。



**体験することで、自分から業務に関わりたいという気持ちになる**

## セルフメディケーションの体験

OTCの医薬品は第1類の解熱鎮痛薬と排卵日検査薬しかないため、患者さまに説明する機会が少ない。



- ・店舗交流で健康サポート薬局にて実習
- ・本社合同研修

# 本社会同研修

## 研修内容

- 1、「介護保険とケアマネジャー」について
- 2、「在宅医療と薬剤師」について
- 3、「災害時医療と薬剤師」について
- 4、「接遇研修」
- 5、「セルフメディケーションにおける薬剤師の役割」について**
- 6、「薬剤師と他職種連携（栄養士）」
- 7、「薬局製剤」

**→研修でやったことをその後の実習で活かすことができる**

## セルフメディケーション研修後の学生の変化

学生が各自事前検討し、グループで  
ディスカッション、ロールプレイする

鎮痛剤の貼布剤がかぶれてしまう患者さまへのゲル剤の提案



**服薬指導の中で市販薬使用についての聞き取りや  
処方薬との相互作用について説明ができるようになる**

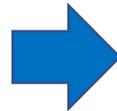
## 指導薬剤師の中間報告会について

指導薬剤師自身も、実習の進め方、学生の能力に合った指導方法について悩む

を 5名ほどのグループになり、困っていること、悩んでいることを  
ディスカッションし、発表する。

例えば…

他の職員の協力が  
なかなか得られない



1人5件ずつ服薬指導に連れていく  
など具体的な方法で指示を出す

## 改定コアカリに変わり、実習をやってみた感想

- 体験を重視することで学生の意識が向上する  
(受け身ではなく主体的な実習)
- 服薬指導を早く始めることで、2回、3回と同じ患者に服薬指導する機会も増えて、学生の自信につながる
- 評価の部分においては薬剤師の理想の形を目指すことで、薬剤師の全体像がつかみやすい

- ・ 代表的8疾患全ての服薬指導の達成や地域連携の体験にも他店舗や病院、施設の協力が必要
  
- ・ 学生の能力に合わせたスケジュールの設定や体験のやり方



ご清聴ありがとうございました